

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国の消費者物価： 10月は前年同期比5.5%上昇、11月は4%台へ

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

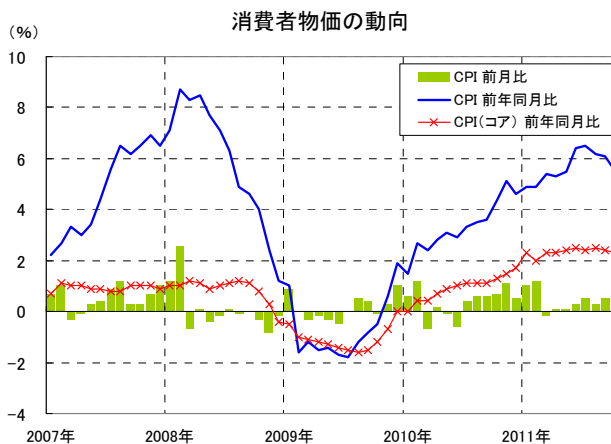
### 1. 消費者物価は3ヵ月連続で低下

(図表-1)

11月9日に中国国家统计局が発表した10月の消費者物価は前年同月比5.5%の上昇となり、7月の同6.5%上昇をピークにして、その後は3ヵ月連続で前月の上昇率を下回った。10月は前月比でも0.1%上昇に留まり、9月の0.5%上昇を下回った(図表-1)。

図表-2に示した品目別の内訳をみると、10月は生鮮野菜が前年同月比6.8%低下、高騰していた豚肉価格も同38.9%上昇へと上昇ピッチが鈍化するなど食品の上昇率は同13.4%から同11.9%へ1.5ポイント鈍化した。

また、消費品(モノ)とサービス価格の対比で見ると、10月の消費品(モノ)は前年同月比6.6%上昇(前月比では0.1%上昇)、サービス価格は同2.8%上昇(前月比では0.2%上昇)と、ともに前月の上昇率を下回った。他方、衣類は同3.7%上昇(前月比では1.6%上昇)、家庭用品サービスは同3.1%上昇(前月比では0.1%上昇)と前月の上昇率を上回っている。



(資料)CEIC

(図表-2)

消費者物価(分類別、前年同月比)

(単位:%)

	消費者物価	品目別									消費品(モノ)	サービス
		食品		衣類	家庭用品サービス	医療保健	交通通信	娯楽教育文化用品サービス	居住			
		うち生鮮野菜	うち豚肉									
2011年1月	4.9	10.3	2.0	12.4	▲0.2	1.4	3.2	▲0.1	1.0	6.8	5.0	4.6
2011年2月	4.9	11.0	6.0	18.1	0.4	1.4	3.0	▲0.3	0.3	6.1	5.4	3.8
2011年3月	5.4	11.7	4.3	27.2	0.8	1.9	3.2	0.1	0.5	6.6	5.9	4.2
2011年4月	5.3	11.5	▲7.4	35.2	1.4	2.1	3.2	0.5	0.5	6.1	5.9	3.9
2011年5月	5.5	11.7	▲7.1	40.4	1.8	2.5	3.2	0.7	0.6	6.1	6.2	3.9
2011年6月	6.4	14.4	7.3	57.1	2.1	2.5	3.4	0.9	0.6	6.2	7.4	4.0
2011年7月	6.5	14.8	7.6	56.7	2.2	2.7	3.6	0.9	0.5	5.9	7.6	3.7
2011年8月	6.2	13.4	0.1	45.5	2.9	2.8	4.1	1.0	0.4	5.5	7.3	3.4
2011年9月	6.1	13.4	2.1	43.5	3.2	3.0	4.1	1.0	0.0	5.1	7.3	3.0
2011年10月	5.5	11.9	▲6.8	38.9	3.7	3.1	3.5	0.8	0.0	4.4	6.6	2.8

(資料)CEIC

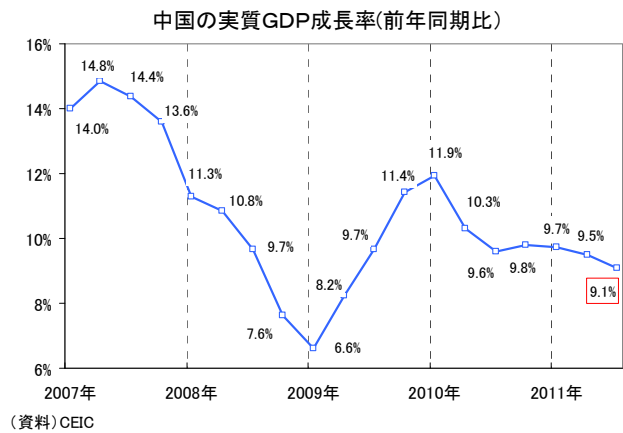
## 2. 11月の消費者物価上昇率は4%台へ

さて、今後の消費者物価の動きだが、11月は10月より更に上昇率が低下する可能性が高いと予想している。

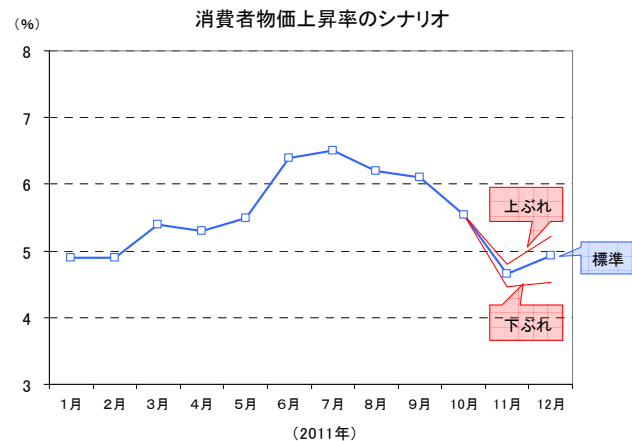
図表-3に示したように、中国の経済成長率は7-9月期に実質で前年同期比9.1%へ低下、景気に先行性がある企業センチメントも、製造業購買担当者景気指数（PMI）が10月には50.4と今年最低のレベルに落ち込むなど低迷しており、欧米先進国の景気鈍化で輸出の勢いにも陰りがみられることから、景気減速が賃金上昇によるインフレ圧力を低減すると考えている。従って、今回の発表数値を反映した現時点での「標準」シナリオでは、11月は5%の大台を割り込み4.7%上昇と予想している。また、一定幅での「上ぶれ」と「下ぶれ」のリスクを勘案した予測を計算すると、「上ぶれ」したケースでも4%台と推計されるため、5%の大台を割り込む可能性が高い（図表-4）。

一方、欧米経済の失速懸念がやや和らいだこと等から国際商品市況が反発に転じている。図表-5に示した代表的な商品指数であるCRB指数の推移をみると、今年4月末をピークに10月初旬までは下値を探る展開となっていたが、最近では下げ幅の38%程度を回復している。しかし、現時点では上値のトレンドラインを下回っており、0.382戻しも完成しておらず、欧州危機の早期解消は困難とみられることから、下落トレンドの中の綾戻しに過ぎないと考えている。但し、既に昨年10-12月期の平均レベルを上回っており、今後の展開次第では上値のトレンドラインをブレイク、今年1-3月期の平均レベルを上回る可能性もあるので、当面は注意が必要だろう。

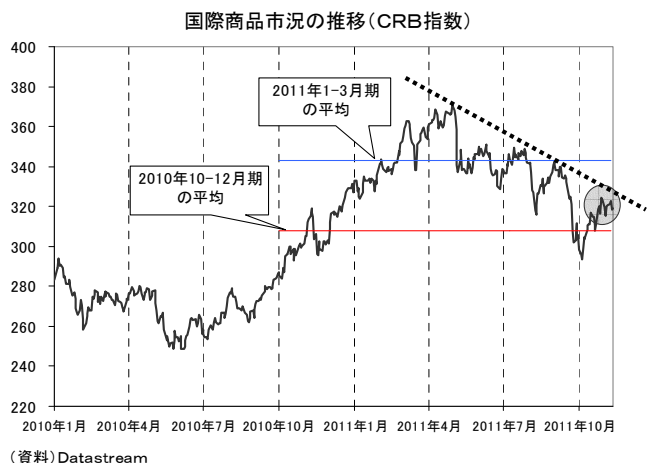
(図表-3)



(図表-4)



(図表-5)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。